事業所名	児童通所支援ぽっとまむユニック（放課後デイサービス）	**支援プログラム**	作成日	2024 年	10 月	1 日

法人（事業所）理念		「生きる」「育つ」「守られる」「参加する」の４つの権利を守り、自己表現のできる、個性豊かな人に成長していくことを願っています。		
支援方針		アットホームな環境の中で、社会自立と身辺自立の2グループに分かれての支援を実施します。 社会自立を目標とするお子様には、家事技術や公共の場でのマナー習得など、より実践的な活動を取り入れ、企画準備から終了までの一連の流れを子ども同士で行えるよう手助けを行います。また、長期休暇時には1日外出を行い、様々な社会経験の機会を作ります。 身辺自立を目標とするお子様には、小集団での活動を基本にしながら、身辺自立のためのスキルアップを目指し、一人一人のお子様の課題に沿って、丁寧に関わります		
営業時間（学休日）		１０時００分～１９時００分　　（９時００分～１８時００分）	送迎実施の有無	あり
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	おやつやお弁当の時間を設けることで、様々な形態や味の食べ物を食べる経験を積み、食事の楽しさや摂食嚥下訓練、道具の使用方法を学ぶ機会を設けます。 タイムスケジュールに沿った活動を設けることにより、生活リズムの安定を図ります。 定時のトイレ誘導を行い、排泄面の自立を促します。 スヌーズレンの設定活動により、感覚刺激空間でそれぞれがリラックスした時間を過ごします。 個人の発達段階に合った支援を行い成長発達を促します。		
	運動・感覚	エアマット運動でバランス感覚を養ったり、トランポリンやぶら下がりロープなどで五感や運動機能を育んだりします。 音楽活動で楽器に親しみ、音色の変化やリズムを感じて音楽を楽しみます。 運動活動により固有感覚・皮膚感覚への刺激を促し、ボディイメージをもてるよう働きかけます。また、繰り返し実施することで、定着を促します。 個人の発達段階に合った支援を行い成長発達を促します。		
	認知・行動	駄菓子屋さんなどの設定活動により、お金のやり取りを行う中で、社会性の習得や社会のルールの理解につなげます。 パソコンを使う設定活動により使い方の習得につなげます。 日々の繰り返し動作の実施により理解と定着を促します。 個人の発達段階に合った支援を行い成長発達を促します。		
	言語 コミュニケーション	毎日はじまりの会や終わりの会を行い、言語コミュニケーションを図ります。 言語によるコミュニケーションを通し、語彙の獲得や意味理解、適切な言葉の活用につなげます。 様々なコミュニケーション方法を用いて、他者に自己の意思を伝える練習を行い、伝わった時の喜びや他者から反応が得られる喜びを味わいます。 個人の発達段階に合った支援を行い成長発達を促します。		
	人間関係 社会性	事業所職員との関わりを通し、信頼関係の構築を図ります。 事業所職員と継続的に関わることによる安心感を支えに、より多くの人との関係性の構築につなげます。 他の利用者さんとの関わりを通し、様々な想いに触れる機会を設け、他者理解につなげます。 駄菓子屋さんなどの実践活動の他、学休日に公共交通機関を使っての外出や社会見学を行い、公共の場でのルールやマナーの理解や、将来の自立に向けたイメージ作りを行います。		
家族支援		日常生活において、社会資源が足りているかを確認し、必要に応じてアドバイスやサポートを行います。 困りごとなどが発生した際は、随時電話での相談または面談の機会を設けます。	移行支援	ライフステージの切り替えを見据えた、地域の生活の場や育ちの場との交流と情報交換を行います。
地域支援・地域連携		他の通所支援事業所との交流と情報交換をします。 地域連携会議への参加をします。	職員の質の向上	毎朝ミーティングを行い、情報共有をします。 外部研修の受講・事業所内研修の実施などを行います。
主な行事等		夏まつり・ハロウィン・クリスマスパーティー・進級お祝いなどを行います。 近隣施設や公園での活動や、公共交通機関を使っての外出、就労支援事業所見学を行います。		